

釧路信用金庫と地域社会

当金庫の地域経済活性化への取組みについて

当金庫は、釧路・十勝地区を事業区域として、地元の中小企業者や住民が会員となって、お互いに助け合い、お互いに発展していくことを共通の理念として運営されている相互扶助型の金融機関です。

地元のお客様からお預かりした大切な資金(預金積金)は、地元で資金を必要とするお客様に融資を行って、事業や生活の繁栄のお手伝いをするとともに、地域社会の一員として地元の中小企業者や住民との強い絆とネット

ワークを形成し、地域経済の持続的発展に努めております。

また、金融機能の提供にとどまらず、「この地域を愛し、豊かな未来を創造します」という経営理念のもと、文化、環境、教育といった面も視野に入れ、広く地域社会の活性化に積極的に取り組んでおります。

※計数は、平成22年3月末現在のものです。

預金積金に関する事項

[地域からの調達]

○預金積金残高【179,409百万円】

お客様からお預かりした大切な預金は、皆様から信頼を頂いている証です。平成21年度におきましても、信用のパロメーターとも言える個人預金が137,128百万円となりました。当金庫では、お客様の大切な財産を安全に、確実に、お気軽にご利用いただけるように、また、目的や期間に応じてご選択いただけるよう各種預金を取り揃えております。

今後も当金庫は、地域のお客様の着実な資産づくりのお手伝いをさせていただくため、新商品の開発やサービスの一層の充実に向けて努めてまいります。

なお、お取り扱いしている主な商品については、18ページをご覧ください。

お客様 ———— うち会員
14,625人

預金積金
出資金
706百万円

ご融資
支援サービス

貸出金以外の運用に関する事項

○有価証券残高【57,735百万円】

当金庫は、お客様のご預金をご融資による運用の他に、有価証券等による運用も行っております。

有価証券運用は、国債等を中心に各種のリスクに配慮した安全な運用に努めております。

預証率(預金残高に占める有価証券残高の割合)期末値 32.18%

今期決算に関する事項

徹底した内部経費の節減・効率化の推進を行う一方、積極的に不良債権処理を実施しました。平成21年度は、経常利益は442百万円、当期純利益は341百万円を計上する決算となりました。

また、自己資本比率は、12.75%と国内基準4%を大きく上回っております。

なお、詳しくは本誌(26～36ページ)をご覧ください。

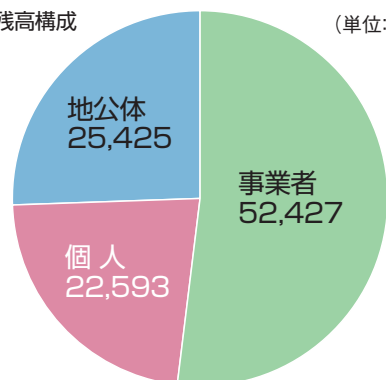
貸出金(運用)に関する事項

[地域への資金提供の状況]

○貸出金残高【100,446百万円】

当金庫では、地域の皆様からお預かりしたご預金を、地域の皆様の発展にお役に立つよう、幅広く融資することで、地域社会へ還元しています。預貸率(預金残高に占める貸出金残高の割合)は、期末値55.98%、期中平均値55.15%となりました。なお、お取り扱いしている主な商品については、18ページをご覧ください。

貸出金残高構成 (単位:百万円)



常勤役員数 171人
店舗数 19店

文化的・社会的貢献に関する事項

①新春文化講演会の開催

③一店舗一貢献活動

②地域行事への積極的参加

④文化的活動への支援、参画等

なお、詳しくは本誌13ページをご覧ください。

お取引先への支援

当金庫には、中小企業、個人事業主の方を対象としたお取引先相互の親睦交流の場として「愛信会」があります。経済情勢の提供やお客様同士の情報交換による取引促進など、お客様相互の発展と繁栄のお手伝いをしております。

その他、社会保険労務士、中小企業診断士、ファイナンシャルプランナー等の資格を有する職員を擁しており、お客様への情報サービス、相談業務等にお応えしております。

「地域密着型金融推進計画」の平成22年3月末現在における進捗状況につきましては、

本誌及びホームページ上
<http://kushiroshinkin.com>

に掲載しております。